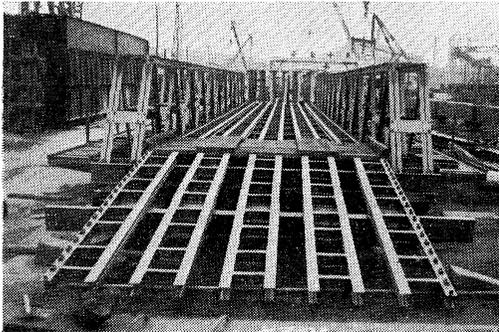


### 応急用橋梁としてのトラス橋

災害などの応急用橋梁として 30 名で 10 時間くらいで架設できるトラス橋が 3 橋、KK宮地鉄工所により 3 月末に完成した。支間は 3 m 単位で自由に調節でき、工費は 1 連あたり 750 万円、東北地建に 2 橋、四国地建に 1 橋が常備される。

荷重：TL-20 支間：30.0 m  
 巾員：車道 3.60 m，両側に 0.60 m の歩道  
 桁高：2.0 m  
 総重量：46 t（木材 16 m<sup>3</sup>，高張力ボルト 5 000 本使用）

完成した応急用トラス橋

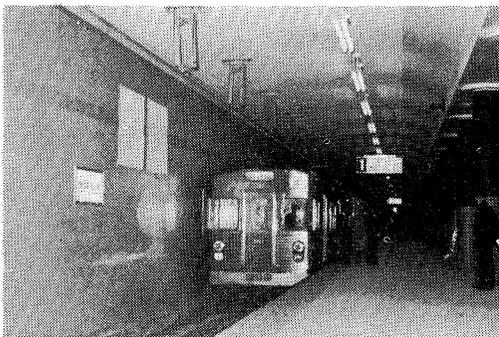


### 地下鉄日比谷線 南千住一仲御徒町間 開通

帝都高速度交通営団施行の東京都高速鉄道第 2 号線（通称日比谷線）北千住一中目黒間 20.9 km のうち、南千住一仲御徒町間 3.7 km が 3 月 28 日開通した。同区間には南千住駅ほか 5 駅があり、南千住で国鉄常盤線に、上野駅では地下連絡通路により銀座線および国鉄上野駅にそれぞれ連絡している。

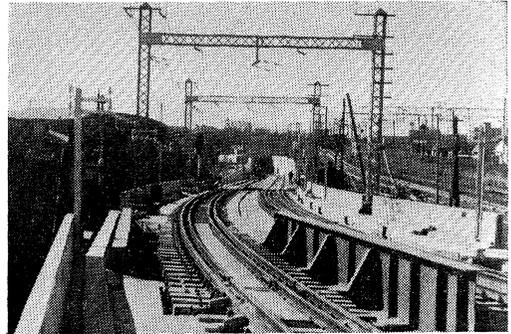
#### 仲御徒町 停車場

（ホーム（島式）およびステンレスカー、巾員 7 m、  
 延長 120 m，径 50 cm の鋼管柱使用）



日比谷線は将来東武鉄道伊勢崎線，東京急行東横線と相互直通運転ができるように、架空電車線方式を採用しており、トンネル内では剛体架線を使用している。保安、通信装置としては信号現示に従い列車を自動的に減

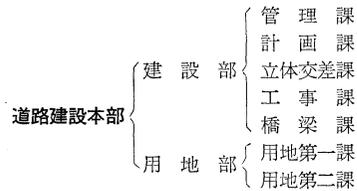
南千住高架橋からトンネル入口付近を望む



速、停車させる高周波連続誘導式自動列車制御装置や、列車が進行中でも車両の運転台で関係先と通話できる誘導無線電話など地下鉄としては最新の設備をそなえている。また、車両は全列車とも 2 両固定編成のステンレスカーである。この間の建設には昭和 34 年 5 月着工以来 1 年 11 カ月の年月と 76 億円の資金を要しており、トンネル構築の工法は、南千住駅およびその付近約 380 m の高架部分をのぞき、ほとんどが路面覆工による道路下の掘削工事である。上野付近の在来の地下鉄、銀座線の下を通過する箇所では在来のトンネルを補強し、トレンチ掘削工法を採用した。

### 東京都に道路建設本部新設

東京都では緊急を要する街路、道路、橋梁および立体交差事業の執行体制の強化をはかるために、このほど道路建設本部を新設した。機構は次のとおりである。



また出先を強化して、第一ないし第四特定街路建設事務所を設けた。

昭和 36 年度予算は 280 億円でその内訳は構築 22%，用地 37%，補償 13%，委託 28% となっている。このうちオリンピック関係は 202 億円である。昭和 35~38 年度のオリンピック関係道路の総額は 606 億円である。

### 北九州道路完成

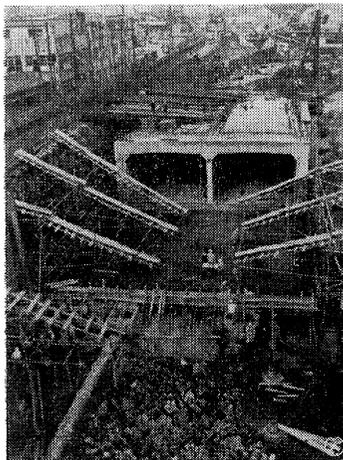
北九州重工業地帯の幹線道路は一級国道 3 号線があるのみで、33 年 3 月の関門トンネルの開通以来ますます交通量が増大し飽和状態となっていた。公団では 3 号線のバイパスとして 32 年 5 月、門司市黒川~大里間 4 100 m の工事に着手し 33 年 10 月営業に入り、引続き 33



高速道路建設費および駐車場建設費については、予算額を超えて契約することができることとし、予算額をふくめてその契約計画額はそれぞれ 126 億 9937 万 9000 円および 13 億 3627 万円である。

首都高速道路の工事進捗状況

1号線浜離宮付近工事状況



都道、首都高速道路は全線8路線のうち、現在工事に着手している箇所は次のとおりである。

1号線においては中央区江戸川橋より築地に至る楓川、築地川筋の掘削式および港区芝汐留より海岸通り添いの高架式が工事中である。

2号線において

は港区芝汐留の駐車場および高架式。

4号線においては千代田区大手町、竹平町の神田川上の高架式および港区元赤坂町の国会図書館前のトンネルならびに渋谷区千駄ヶ谷駅前の高架式で関連街路もおおむね高架部分を施工している。施工状況の進捗率を示せば次のとおりである。

高速道路および関連街路施工状況

| 路線別      | 1号線             | 2号線          | 4号線             | 計               |
|----------|-----------------|--------------|-----------------|-----------------|
| 延長       | 20270 m         | 1002 m       | 12270 m         |                 |
| 区分       |                 |              |                 |                 |
| 高速道路着工延長 | 6080 m<br>29.8% | 80 m<br>0.8% | 1410 m<br>11.5% | 7570 m          |
| 構造       | 鋼構造             | 80 m         | 590 m           | 3030 m<br>40.0% |
|          | PS              | 1630 m       | —               | 2050 m<br>27.0% |
|          | PC              | 190 m        | —               | 190 m<br>2.5%   |
|          | トンネル、河床道        | 1900 m       | —               | 2300 m<br>30.5% |

| 延長       | 9850 m          | 3320 m         | 計               |
|----------|-----------------|----------------|-----------------|
| 区分       |                 |                |                 |
| 関連街路着手延長 | 2920 m<br>28.0% | 360 m<br>10.8% | 3280 m<br>24.9% |

契約額：85 560 000 000 円

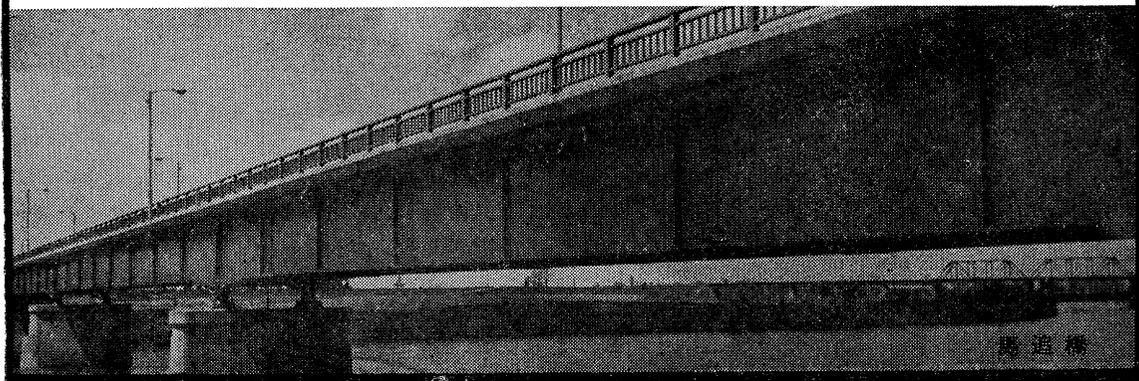
ただし、本契約額には調査費、設計委託費、支給費等をふくまない。



橋梁、鉄骨、鉄塔、鉄構物

# 松尾橋梁株式会社

本社 大阪市太正区鶴町3丁目110番地 電話泉尾(55)1243~6番  
支店 東京都江東区南砂町4丁目624番地 電話深川(644)4131~8番  
出張所 札幌市北二条西2丁目仲通り26番地 電話札幌(2)0831番



橋造構